日本で唯一のコンサルタント情報専門誌！

「本物のコンサルティング」情報だけを厳選提示

月刊コンサルタント情報

2017 September Issue-05

interview

注目のコンサルタント Pick Up

髙橋 雅美

Masami Takahashi

special message

すべての社員を
営業戦力化する「全員営業」の 3 Points

辻 伸一

Shinichi Tsuji

topics

BOOK
今月の**経営者の本棚**

IDEA
注目コンサルタントの人気コラム

RANKING
ランキングデータ **TOP10**

DATA
データで読み解く **ニッポンの未来**

JCPO
日本コンサルティング推進機構

Point of view

日本コンサルティング推進機構 JCPO推奨

「ダイナミック・コンサルタント」の役割

事業成長に役立つ「本物のコンサルティング」を、経営者や事業部長の方々にご活用いただくために設立された団体です。コンサルティングを正しく活用し、企業が成長していくために、当機構が果たす役割は主に3つあると考えています。

- 事業成長に役立つ本物のコンサルタント情報を経営者に届けること
- 研修とコンサルティングの違いが理解され、混同が解消されること
- 経営者とコンサルタントの依頼のミスマッチを無くすこと

日本企業の成長発展を願い、企業経営者を応援します。

interview

注目のコンサルタント Pick Up

株式会社ココティアコンサルティング
代表取締役
アクティブメンタルコンサルタント

髙橋 雅美

Masami Takahashi

職場環境づくりを実現し業績向上につながる「アクティブメンタル」体制を体系化

「言うまでもなく中小企業にとって人財は宝です。だからこそ、たったひとりのメンタル不調者も出さず、社員が働きがいを持ってイキイキ仕事に熱中する職場環境が必須なのです。その職場環境づくりを実現し、業績向上につながる手法が『アクティブメンタル』体制です。」

そう語るのは、株式会社ココティアコンサルティング代表の髙橋雅美氏だ。「アクティブメンタル」体制とは、全ての社員がイキイキと仕事に熱中し、自らの能力を存分に発揮し、働きがいを感じる職場環境を作り上げていく体制のこと。これは、研修を用いてやる気を持たせる、目標管理をさせるという手法とは一線を画すものだ。社員の思考や行動様式を劇的に変え、組織自体を活性化することで、まさに危機や逆境にも強く、結束・団結力をもった社員と自社組織を作り上げることができる。今まさに、働きがいのある職場づくりは、中小企業にとって、社員の定着、そして業績向上に欠かせない必須の投資であり、重要な経営戦略である。

髙橋氏は、会社員時代に自身がカウンセリングを受けたことをきっかけに、臨床心理士に興味を持ち、会社員を続けながら大学院で勉強し資格を取得した。外資系製薬会社時代、社会貢献活動（CSR）として患者支援という活動を積極的に推進する立場にあり、患者の意見や悩みを多く聞く機会があった。この時に、臨床心理を学ぶ立場として多くを学んだ。そして転機は来た。2011年3月の東日本大震災だ。宮城県出身の髙橋氏は、震災後に被災者支援のボランティアで現地入りし、被災者たちと触れ合ったことで一念発起し、独立を果たした。

社員が心身ともに健康で、働きがいを持てる職場をつくることが永続的に発展するための第一歩

独立後はカウンセリングルームを主催して

高橋氏を知る3つのキーワード

労働者のメンタルヘルス相談 2,500件以上

放送大学大学院を終了し、臨床心理士資格取得後、2,500件以上の労働者のメンタルヘルス相談を受け、企業と労働者を取り巻くメンタルヘルス現場の課題に精通する。

経営者・人事責任者へのコンサルティング 12社

独立起業後3年間で、臨床心理士としての知識と経験を生かし、企業が抱えるメンタル不調者へのアドバイス、ならびにメンタルヘルス対策の社内構築に関するコンサルティングを行う。

9,000人以上が参加したCSR(社会貢献)活動の企画運営

外資系製薬企業で異業種と連携してNPOの立ち上げに携わる。5年間で延べ9085人が参加した疾患啓発活動イベントの企画運営を行い、参加企業の認知向上、イメージ向上に貢献。

四谷氏の視点

社員が働きがいを持てる職場づくりは、社員の定着と意欲をもたらす。仕事に誇りとやりがいを持つ社員を増やすことで会社の業績向上につながる。

CHECK

セミナー情報

「社員がイキイキ仕事に熱中して業績が伸びる『アクティブメンタル』体制をつくる5大戦略セミナー」
会期：2017年9月21日（木）13:30 ～ 17:00
会場：機械振興会館
会費：30,000円（税込）／1名　定員：10名
主催：株式会社ココティアコンサルティング
問い合わせ先：03-5860-4148

profile

上智大学文学部卒業後、帝人株式会社、外資系製薬企業ブリストル・マイヤーズの日本法人において、マーケティング、CSR（社会貢献）、広報などでキャリアを積む。臨床心理士の資格取得後は、専門知識と経験を活かして、経営者、人事責任者に対しメンタルヘルスに関するコンサルティングに従事。労働者個人の相談を受けるうちに、「労働者のメンタルヘルス向上には、働きがいを持てる職場環境が必須である」と確信し、株式会社ココティアコンサルティングにて、職場環境改善コンサルティングに従事。

企業データ

メンタル不調を未然に防ぐだけではなく、社員が働きがいを持ち、イキイキ・仕事に熱中する職場づくりで組織全体を活性化させ、業績向上に導く「アクティブメンタル」という独自の手法を持つ。さらに、その仕組みを企業の強みとしてブランディングに活かすコンサルティングを行う。

東京都中央区銀座5-6-12
みゆきビル7F
TEL: 03-5860-4148
https://cocotia.co.jp/

労働者個人のメンタルヘルスやキャリアの相談に乗っていたのだが、相談に乗れば乗るほど職場環境がいかに大切であるかを痛感した。せっかくカウンセリングで元気になっても、再び同じ職場環境に戻ればまた不調となることもある。これは働く人にとっても、企業にとっても大きな損失だ。

そう実感した後は、企業向けにメンタル不調を徹底予防するための仕組みづくりに専念するようになった。折しも2015年、政府が50人以上の企業に「ストレスチェック」を義務付けたこともあり、それまで社員のメンタルヘルス対策にあまり興味がなかった企業も、どうせやるなら有効的にやりたいと意欲を見せ始めた。

「ストレスチェック」は、メンタルヘルスの「一次予防」と言われ、あくまでもセルフチェック形式で自分で気づき対処する予防法だ。一方、職場環境改善は「ゼロ次予防」とも言われ、企業風土や職場環境をよくすることで、高ストレス者が出にくい土壌を作るだけでなく、社員が自らの仕事にやりがいを持ってイキイキと働くという、中小企業にとっては最も重要な取り組みだ。「働きがい」は、ワークライフバランスなどの「働きやすさ」とは異なる。制度の導入だけでは、働きがいのある職場にはならない。

髙橋氏は、コンサルティングを開始する際、「働きがい」意識を高めるために、社員の心にアプローチしていく。結果、与えられた仕事の意義、つまりどのように社会に、人に役に立っているのかを十分に理解し、やれば出来ると感じる「自己効力感」を持てるような社内環境や風土を作り上げていくのだ。さらに取り組みの1つとして、ＣＳＲ活動を積極的に導入し、社員のやりがい向上と自社の企業イメージ向上に貢献する提案を行うのが、髙橋流コンサルティングの特徴だ。社員が誇りとやりがいを持って仕事に取り組めば、逆境にあっても強い組織であり続けることが可能だ。働きがいのある職場づくりこそが、中小企業の成長と発展には欠かせない。